

# 木星が見ごろ



# 1月

小望遠鏡で見た木星

太陽系最大の惑星、木星。今年はおうし座で輝いています。もともと明るい星が多く華やかな冬の夜空に、さらなる彩りを添えている木星。その明るさは約-3等星、圧倒的な存在感を放っています。肉眼では木星の強烈な輝きとまわりの1等星との対比を、双眼鏡や低倍率の望遠鏡では木星のまわりを回るガリレオ衛星の動きを、高倍率の望遠鏡では木星の縞模様を、それぞれお楽しみください。

日	月	火	水	木	金	土
		1 <small>初日の出 平塚:午前6時51分</small>	2 <small>地球が近日点を通過</small>	3 <small>しぶんぎ座流星群が 極大</small>	4	5  <small>二十四節気:小寒</small>
6	7	8	9	10	11	12 
13	14	15	16	17	18	19 
20 <small>二十四節気:大寒</small>	21	22	23	24	25	26
27 	28	29	30	31		

 新月
  上弦
  満月
  下弦

 平塚市博物館

# 18日： 月と木星が接近

アルデバラン

木星

木星



月

プレアデス星団(すばる)

ヒヤデス星団

# 2月

最接近は21時45分、西の空

18日、見ごろを迎えている木星が見かけ上、月に大きく近づきます。双眼鏡であれば月と木星を同じ視野内に見ることができるでしょう。ガリレオ衛星も見えるかもしれません。まわりにはおうし座の1等星アルデバランや、ヒヤデス星団、プレアデス星団(和名:すばる)といった散開星団もあり、賑わっています。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4 <small>二十四節気:立春</small>	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 <small>二十四節気:雨水</small>	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

● 新月    ◐ 上弦    ● 満月    ◑ 下弦

 平塚市博物館

# 中～下旬： 見えるか？パンスターズ彗星

3月中～下旬 日没一時間後の西の空



10日、パンスターズ彗星が近日点を通過します。その後、西の空で-3等星ほどの明るさで見られると予想されています。しかし、彗星の明るさ予想は鵜呑みにはできません。そもそも彗星はぼーっとした天体。このぼーっとした光を一点に集めたときの明るさですから、同じ-3等星でも木星よりも圧倒的に暗く見えます。予想通りに明るくなるとも限りません。しかも低空。はたしてどのように見えるのでしょうか・・・？ 立派な尾が伸びてくれることを期待しましょう。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5  二十四節気：啓蟄	6	7	8	9
10	11	12 	13	14	15	16
17	18	19	20  二十四節気：春分	21	22	23
24 / 31	25	26 金星が外合 夕方の西空へ	27 	28	29	30

 新月
  上弦
  満月
  下弦

# 4月



上旬：  
ダイヤモンド富士

2011年4月1日のダイヤモンド富士

富士山の頂上から日が昇る瞬間、または富士山の頂上に太陽が沈みきる直前、富士山頂の凹凸のすきまから太陽の光がもれ出て、神々しく輝きます。これがダイヤモンド富士と呼ばれる現象です。平塚からは4月上旬と9月中旬の2回、見ることができます。平塚市内でも場所によって日付が変わる現象・・・皆さんのお宅からはいつ、見られるでしょうか？

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 	4	5 <small>二十四節気: 清明</small>	6
7	8	9	10 	11	12	13
14	15	16	17	18 	19	20 <small>二十四節気: 穀雨</small>
21	22 <small>4月こと座流星群が 極大</small>	23	24	25	26  <small>わずかな部分月食</small>	27
28	29	30				

 新月
  上弦
  満月
  下弦

# 5月

2012年5月21日、平塚で見られた金環日食  
(秋山昌俊氏撮影)



## 10日： オーストラリアで金環日食

2012年5月21日には、日本の多くの地域で金環日食が見られました。平塚は天気に恵まれませんでした。雲間からなんとか金環を見ることができた方も多いのではないのでしょうか？ そのおよそ一年後・・・今度はオーストラリア北部や南太平洋の島々で金環日食が見られます。2012年5月に見られなかった方は、リベンジしてみるのも手かもしれません。ちなみに2013年は金環食が1回、金環皆既日食が1回ありますが、いずれも日本からは見ることはできません。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2 	3	4
5 <small>二十四節気：立夏</small>	6 <small>みずがめ座エータ流星群が極大</small>	7	8	9	10 	11
12	13	14	15	16	17	18 
19	20	21 <small>二十四節気：小満</small>	22	23	24	25 
26	27	28	29	30	31	

● 新月    ◐ 上弦    ● 満月    ◑ 下弦

 平塚市博物館

# 土星が見ごろ



# 6月

小望遠鏡で見た土星

望遠鏡で見ていちばん感動するのは、この土星かもしれません。リングを持ってゆらゆら揺れる姿は神秘的です。今年の土星はてんびん座に輝いています。2009年にリングが真横になって以来、徐々にリングの傾きが増し、見やすくなってきました。6月から7月は梅雨の季節・・・雨の日が続く時期です。たまの晴れ間を逃さないようにしましょう。

日	月	火	水	木	金	土
						1 
2	3	4 <small>二十四節気: 芒種</small>	5	6	7	8
9 	10	11	12	13	14	15
16	17 	18	19	20	21 <small>二十四節気: 夏至</small>	22
23  <small>月が本年最近</small>	24	25	26	27	28	29
30 						

 新月
  上弦
  満月
  下弦

# 8日： くじら座ミラが極大



# 7月

7月8日3時の南東の空

くじら座のミラは330日ほどの周期で明るさが変わる長周期変光星です。星自体が膨らんだり縮んだりしているために明るさが変わる脈動変光星の一種です。明るさは約10等級から約2等級まで大きく変わります。しかも、最も明るくなる時(極大)の明るさは毎回、変わります。はたして今回はどのくらいまで明るくなるのでしょうか？

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5 <small>地球が遠日点を通過</small>	6
7 <small>七夕 月が本年最遠 二十四節気:小暑</small>	8 	9	10	11	12	13
14	15	16 	17	18	19	20
21	22	23  <small>二十四節気:大暑</small>	24	25	26	27
28	29	30 	31			

 新月
  上弦
  満月
  下弦

 平塚市博物館



12日:  
スピカ食

8月



1994年11月30日に見られたスピカ食

スピカ食 1994年11月30日 平塚市博物館

月が恒星を隠していく現象を星食と言います。12日に見られるのはおとめ座の1等星スピカを隠す星食、スピカ食です。三日月形の月に徐々にスピカが隠され、そしてまた出現する様子は非常に美しいものです。潜入は18時48分頃、出現は19時25分頃です。肉眼でも見ることができますが、まだ空が暗くなっていないので、双眼鏡があるとより見やすくなるでしょう。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7  二十四節気: 立秋	8	9	10
11	12	13 伝統的七夕 ペルセウス座流星群 が極大	14 	15	16	17
18	19	20	21 	22	23 二十四節気: 処暑	24
25	26	27	28 	29	30	31

● 新月    ◐ 上弦    ● 満月    ◑ 下弦



# 19日： 中秋の名月



# 9月

中秋の名月

中秋の名月とは旧暦8月15日に月を鑑賞する風習のこと。2013年は9月19日が旧暦8月15日です。中秋の名月は必ず満月になるとは限りませんが、2012年同様、2013年も満月です。満月は非常に明るく、街灯などが一切なくても月明かりだけで本が読めると言われます。この日はぜひ、家中の灯りも点けずに、月明かりだけで夜を過ごしてみてもいかがでしょうか？

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5 ●	6	7 <small>二十四節気：白露</small>
8	9	10	11	12	13 ◐	14
15	16	17	18	19 ●	20	21
22	23 <small>二十四節気：秋分</small>	24	25	26	27 ◑	28
29	30	31				

● 新月   ◐ 上弦   ● 満月   ◑ 下弦

10月8日18時の南西～西の空

# 10月

金星

月

土星

水星

## 8日： 月と三惑星が西の空に集合

8日の夕方、西の空に月・金星・土星・水星の四惑星が集合します。月と金星は明るいですが、かんたんに見つかると思いますが、土星もなんとか見えると思いますが、水星はかなり難しいでしょう。しかし、天高く馬肥ゆる秋・・・空が澄み渡る日が多い10月ですから、チャレンジしてみる価値はありそうです。8日の前後の日でも月以外の三惑星を見ることができます。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8 二十四節気：寒露	9 10月りゅう座流星群が極大	10	11	12
13	14	15	16	17 十三夜(後の月)	18	19
20	21 オリオン座流星群が極大	22	23 二十四節気：霜降	24	25	26
27	28	29	30	31		

新月
 上弦
 満月
 下弦

# 11月

## 金星が見ごろ

2010年3月16日 富士山の上に輝く金星



宵の明星・金星が夕方の空に見やすくなってきました。金星は-4等星とたいへん明るく、目のいい人は昼間でも見つけることができます。上旬から下旬に向けて金星は徐々に明るさを増していきますから、まずは夕方に日没後何分経ったら金星が見え始めるか、試してみてください。そのうちに、日没前から見えるようになるかもしれません。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 ● アフリカで金環皆既日食	4	5	6	7 二十四節気:立冬	8	9
10 ◐	11	12	13	14	15	16
17	18 ●	19	20	21	22 二十四節気:小雪	23
24	25	26 ◑	27	28	29	30

● 新月   ◐ 上弦   ● 満月   ◑ 下弦

上旬 日の出一時間前の東の空

# 12月

## 上旬： 見えるか？アイソン彗星

2013年は彗星の当たり年になるかもしれません。3月のパンスターズ彗星に続いて、11月の下旬から12月の上旬にかけてはアイソン彗星が明るくなると予想されています。しかしこの彗星、非常に太陽の近くを通ります。彗星の本体は氷と岩石が集まったもの・・・もしかしたら、太陽の熱に負けて砕け散ってしまうかもしれません。果たしてアイソン彗星は生き残れるでしょうか？

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 ●	4	5	6	7 金星が最大光度 二十四節気：大雪
8	9	10 ◐	11	12	13	14 ふたご座流星群が極大
15	16	17 ●	18	19	20	21
22 二十四節気：冬至	23	24	25 ◑	26	27	28
29	30	31				

● 新月 ◐ 上弦 ● 満月 ◑ 下弦

 平塚市博物館